The background of the entire page is a warm orange color with a repeating pattern of small, stylized yellow flowers. In the lower half, there are several larger, stylized flowers in various colors including pink, yellow, orange, and red, each with a white center. The text is centered in the upper half.

# 岡山県地域医療支援センター 2018(平成30)年次 報告書

Center for medical cooperation, human resources placement and career promotion of Okayama Prefecture

## 目次

### ご挨拶

1.地域卒業医師のキャリア形成支援.....	3
1-1 第6回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ	3
1-2 地域卒支援会議	5
1-3 地域勤務をしている地域卒業医師との面談	5
1-4 初期臨床研修中の地域卒業医師との面談	5
1-5 地域卒学生の希望進路ヒアリング	6
1-6 岡山大学・広島大学地域卒学生との個別面談	6
1-7 岡山大学医療人キャリアセンターMUSCATとの協力	6
2.地域医療機関への地域卒業医師の配置.....	7
2-1 2019年4月 地域卒業医師の配置候補病院の選定条件	7
2-2 勤務病院選定の流れ	8
3.地域医療を支える未来の医療人の育成・確保支援.....	9
3-1 2018年 地域卒学生・自治医科大学生合同セミナー in新見	9
3-2 岡山大学・広島大学の地域医療実習	13
3-3 医学生・大学院生講義	13
3-4 奨学資金の貸与手続等に関する説明会	13
3-5 オープンキャンパス	14
3-6 岡山県知事と地域卒学生・自治医科大学生との懇談会	14
3-7 岡山県臨床研修連絡協議会	14
3-8 レジナビフェア2018 in大阪（初期臨床研修病院合同説明会）	14
4.地域卒業医師の着任環境の整備に関する助言・支援.....	15
4-1 地域医療機関・自治体訪問	15
4-2 初期臨床研修病院訪問	15
4-3 地域の医療機関でのシミュレーショントレーニング	16
4-4 PIONEシンポジウム	16
5.連携協力・情報発信・センター運営.....	17
5-1 岡山県地域医療支援センター運営委員会	17
5-2 岡山県医療対策協議会への出席	17
5-3 フォーラム・シンポジウム	18
5-4 ホームページ・Facebook更新	18

## ご挨拶

### 岡山県地域医療支援センター センター長 糸島 達也

岡山大学地域枠学生が最初に入學したのが2009年4月、卒業して初期臨床研修をはじめたのが2015年4月、そして地域勤務を開始したのが2017年4月です。この報告書が出るのは2019年3月ですので、まる11年が経過し、現在5人の医師が地域勤務をしています。岡山県地域医療支援センターができたのが2012年2月ですので、8年目に入っています。地域枠卒業医師の後期勤務が2021年から始まりますので、現在後期配置病院選定のための検討に入っています。



地域枠卒業医師のキャリア形成支援のために、2013年から「地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」を毎年1回計6回開催して、地域枠卒業医師の配置先を充実させ、また、配置先病院の選考基準のためのランキングの公平で客観的な基準づくりを県下の関係者の皆様に参加していただきながら進めてきました。幸いこの2年間は乗り越えられたように感じています。しかし配置先の偏りの問題があり、後期配置病院選定の際には改善できればよいと思っています。

岡山県の医師数の推移予測では、今年も初期臨床研修医のマッチングの結果、200人近くの新人が岡山県で初期臨床研修をしてくれる予定です。新専門医制度での専攻医も2018年開始で228人と人口比で言うと全国第3位です。一方、70歳で隠退すると仮定すると毎年100人前後が減少します。したがって岡山県に関しては数からいうと不足していないように思えます。ただし、最近は女性医師が3割を超え、医師の働き方改革が推進され、医療費削減がどのような影響を与えるかは予測できていません。

住民の少子高齢化が進展していく一方、地域で働く医師の高齢化も進んでおり、隠退とともにその地域に医療サービスの空白ができると予想されます。しかしそういった過疎地域では、経済的にフルタイムの後任を得ることは難しいと思われます。そういった地域に関しては自治体の負担でどの程度の医療を確保するのか、あるいは輸送手段を確保するのか検討をお願いしたいと思います。ちなみに国民医療費は2016年度42兆円で医師数が32万人とすると、医師一人チーム当たり1.3億円の需要が必要です。政府は財政を立て直すために社会保障費を削ろうとしています。無駄を省いて、もう10数年を乗り越えれば安定期が来ると予想しています。皆様がんばりましょう。

岡山大学の地域医療人材育成講座、認定NPO法人岡山医師研修支援機構と地域医療部会の皆様、岡山県へき地医療支援機構、医療人キャリアセンターMUSCAT、岡山県医師会などと協力して、地域枠の学生も含めた地域医療人材の育成に努めています。ご協力をいただいた皆様方にお礼を申し上げます。

岡山県庁の医療推進課の一隅で、毎週月曜日の午後、糸島、岩瀬、医療推進課の平田（2017年3月まで）、斎藤（2018年3月まで）、藤原（2018年4月から）、センター事務員の下山、秋田、最近は、岡山赤十字病院前院長の忠田正樹先生に参加をいただき協議しています。この報告書は主に秋田さんにお世話になりました。

### 岡山県地域医療支援センター岡山大学支部 専任担当医師 岩瀬 敏秀

岡山県地域医療支援センター岡山大学支部は2012年4月に設立され、もうすぐ8年目を迎えます。地域枠卒業医師のキャリアを支援するため、面談を行ったり、学習の機会を提供したりしています。

また、将来ともに働く仲間と交流しながら地域の実情を学ぶことのできるセミナーを開催し、岡山大学・広島大学の地域枠学生と自治医科大学の学生と顔の見える関係を構築しています。地域医療への貢献とキャリア形成を無理なく両立できるよう、今後も支援を続けていきたいと考えています。

今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。





# 1. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援

## 1-1 第6回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ

2018年 8月26日



筑波大学医学医療系 地域医療教育学  
教授 前野 哲博 氏

岡山県が養成している地域枠学生の卒後の処遇やキャリアプランはどうあるべきかについて検討する「第6回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」を開催しました。

午前の部では、県内の病院長、大学病院教授、行政、医師、地域枠卒業医師、地域枠学生ら71人、午後の部では、46人が参加しました。

午前の部では、筑波大学医学医療系 地域医療教育学教授 前野 哲博先生による「地域医療の充実と医師のキャリアパスの両立に向けて」と題した基調講演をしていただきました。

「地域で活躍する医師は、地域で育てる！」を基本に、地域医療で活躍する医師を養成するための大切なことについて理解を深めました。



岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
地域医療人材育成講座  
教授 佐藤 勝 氏

午後の部では、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座教授 佐藤 勝先生の進行による「地域枠卒業医師が卒後7年目に以降に勤務する病院の選定基準について」と題して、グループワークを行いました。

当センターからは、2018年4月には地域枠卒業医師5人が地域勤務を行っていることの報告と、2019年4月から地域勤務を開始する地域枠卒業医師の勤務病院の選定方法について説明しました。

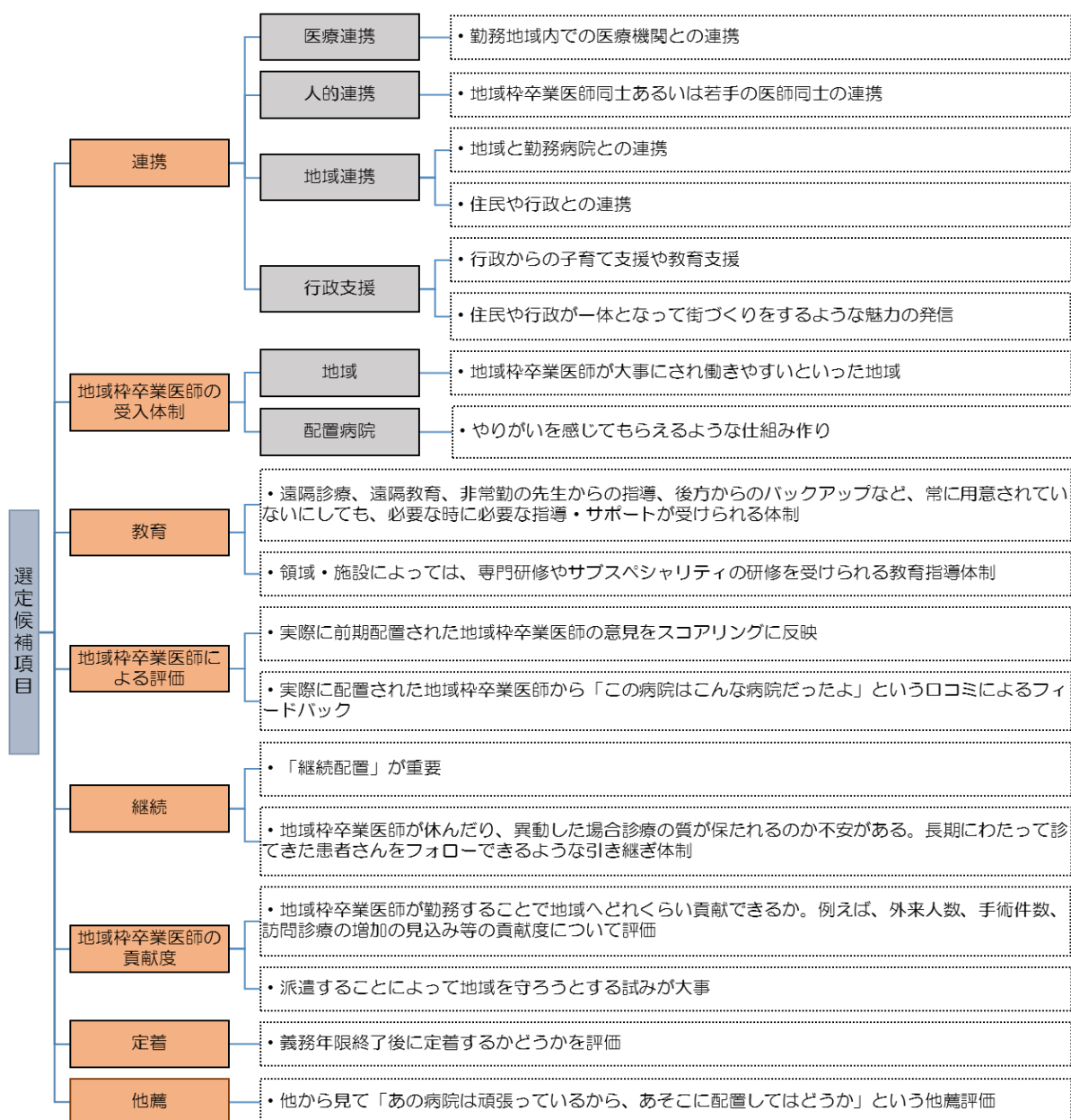
アンケートでは、地域枠卒業医師の勤務病院選定方法のセンター案で概ね良いという評価を頂くとともに、「偏在解消できるという視点では何ら変わらない」、「継続性の視点が必要」というご意見もいただきました。



午後の部 グループワーク参加の皆様

## 午後の部（グループワークご意見の要約）

※これらのご意見を参考に、卒後7年目以降に勤務する病院を選定してまいります。



グループワーク



グループワーク



グループワーク発表

## 1-2 地域枠支援会議



地域枠支援会議

当センター、岡山大学大学院地域医療人材育成講座、県の関係者が一堂に会す「地域枠支援会議」を定期的に行い、地域枠制度の望ましい運用の検討やそれぞれの取り組み状況等について協議を行いました。

第29回	2018年	1月	16日
第30回	//	3月	27日
第31回	//	4月	24日
第32回	//	5月	22日
第33回	//	8月	21日
第34回	//	10月	16日
第35回	//	12月	25日

## 1-3 地域勤務をしている地域枠卒業医師との面談



地域枠卒業医師との面談

地域勤務をしている地域枠卒業医師と個別面談を行い、勤務の状況や今後の方向性について相談を受けました。

〈地域勤務1年目〉	〈地域勤務2年目〉	〈選択研修1年目〉
医師数3人	医師数2人	医師数4人・延べ7人
5月 7日	10月 4日	6月26日    10月 7日
5月 8日	10月 5日	6月28日    10月21日
5月11日		7月 9日    11月 7日(電話面談)
		9月 5日(電話面談)

※医師数…面接対象の医師数、延べ…面接をした人数で、1人の医師に2回面談をした場合2人とカウント

## 1-4 初期臨床研修中の地域枠卒業医師との面談

初期臨床研修中の地域枠卒業医師と面談し、研修の様子や今後の方向性について相談を受けました。

〈初期臨床研修1年目の医師〉	〈初期臨床研修2年目の医師〉
医師数6人・延べ12人	医師数6人・延べ12人
5月29日    10月 10日	4月11日    8月14日
6月 8日    10月 15日	5月 9日    8月29日
6月11日    10月 22日	5月17日    10月 7日
6月13日    11月 5日	6月 1日    10月 8日
6月25日    11月 8日	7月12日    10月18日
8月 7日	7月25日    10月21日



## 1-5 地域枠学生の希望進路ヒアリング

卒業が間近になった岡山大学及び広島大学の6年生に対して個別面談を行い、現時点で想定する卒業後9年間のキャリアプラン、将来希望する診療科等についてのヒアリングを行いました。

広島大学地域枠6年生の希望進路ヒアリング	2018年 9月14日	学生2人
岡山大学地域枠6年生の希望進路ヒアリング	// 12月 5日	学生2人

## 1-6 岡山大学・広島大学地域枠学生との個別面談

岡山大学・広島大学の地域枠学生から学校生活の状況をヒアリングし、大学生活のこと・学業のこと・将来のことなどアドバイスをを行いました。

2018年 2月～ 計29回実施

## 1-7 岡山大学医療人キャリアセンターMUSCATとの協力

岡山大学医療人キャリアセンターMUSCATの企画に共催しました。

2018年 7月29日

【第3回 岡山県医師会 医師の勤務環境改善ワークショップ】

参加者：58人

2018年10月23日

【そのひとらしさを引き出すケア技術：ユマニチュード】

参加者：120人

2018年11月17日

【第9回 岡山MUSCATフォーラム】

「私たちのレジリエンス ー自分・組織・地域ー」

参加者：47人

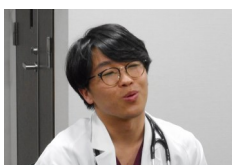


## 2. 地域医療機関への地域卒卒業医師の配置

<地域で活躍している医師>



高梁中央病院 木浦賢彦 医師



金田病院 山本高史 医師



成羽病院 梶谷聡 医師



落合病院 脇地一生 医師



湯原温泉病院 竹内研一 医師

2017年に行った病院・市町村アンケート調査結果の評価により、2018年4月から地域卒卒業医師が勤務する候補病院を6病院（地域勤務を希望する医師の2倍）選定しました。候補病院と地域卒卒業医師とのマッチングにより、2018年4月から地域勤務する病院が決定し、勤務を開始しました。2017年4月から勤務している2人と合わせ、5人の地域卒卒業医師が地域で活躍しています。

2018年4月より勤務

- ・成羽病院（高梁新見保健医療圏）
- ・落合病院・湯原温泉病院（真庭保健医療圏）

2017年4月より勤務

- ・高梁中央病院（高梁新見保健医療圏）
- ・金田病院（真庭保健医療圏）

2018年8月に実施した「第6回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」では、2018年4月に地域卒卒業医師3人が新たに地域勤務を開始したこと及び、2019年4月から勤務する配置病院の選定方法についてご報告しました。

2017年度の「地域卒卒業医師の配置希望調査(病院)」と「地域医療に関する取組調査(市町村)」の評価結果は、「第5回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」報告書に掲載しています。

<https://chiikiiryuokayama.wixsite.com/centerokayama/2017-7-30>

### 今後の課題

2018年5月31日に開催された岡山県医療対策協議会において、「県北の保健医療圏の充足状況を勘案した上で、県南の保健医療圏にも可能な範囲で配置する。」という方針が了承され、2019年4月から地域卒卒業医師が勤務する候補病院は県北を中心とし、さらに県南の病院が加わりました。バランスの取れた配置にするため、引き続き候補病院の検討を行ってまいります。

また、2021年頃には卒後7年目以降の地域卒卒業医師の地域勤務が開始される予定であり、後期配置の病院の選定方法についても検討を行ってまいります。

### 2-1 2019年4月 地域卒卒業医師の配置候補病院の選定条件

2018年4月～5月アンケート実施 対象：岡山県内全162病院、岡山県内27市町村

地域の医師不足	地域の医師の平均年齢、病院へのアクセス等を加味した上で地域の医師不足状況を評価	保健医療圏ごとの候補病院数決定に使用
教育指導体制	症例検討会の実施状況、医学生・研修医の受入実績、リーダーシップ・教育の取組状況等で評価	病院評価に使用
地域で果たしている役割	救急告示病院等の認定状況や地域包括ケア機能、近隣病院との協調体制を評価	
地域の受入体制	医療人確保や地域医療充実のための施策等の各自治体の取組を評価	
待遇	雇用条件や年間総収入、他施設での研修、院内保育・病児保育等を総合的に評価	
救急車の受入状況	救急に対応する医師1人当たりの救急車受入件数等を基準に評価	
新専門医制度への取り組み状況	基本診療領域における基幹施設、連携施設の認定状況等、新専門医制度への取組状況を評価	
経営状況	医業利益率・常勤換算医師1人当たりの医業収益を評価	





## 2-2 勤務病院選定の流れ

### 2018年4月配置

- 2月 2日 **2017年度 第1回岡山県医療対策協議会**  
2018年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の勤務病院の決定  
知事は地域卒卒業医師の地域勤務病院として成羽病院・落合病院・湯原温泉病院を指定
- 4月 1日 **地域勤務希望者3人は、成羽病院・落合病院・湯原温泉病院で勤務を開始**

### 2019年4月配置

- 4月～5月 **医療事情の調査及び地域卒卒業医師の配置希望調査（病院）**  
調査内容：地域卒卒業医師の配置希望の有無と配置希望科・教育指導体制・地域で果たしている役割・待遇・救急車の受入状況・新専門医制度への取組状況・経営状況
- 地域医療に関する取組調査（市町村）**  
調査内容：地域医療の充実につながる取組、医療関係者の充足状況、医療機関と住民との協調体制
- 5月31日 **2018年度 第1回岡山県医療対策協議会で次のことを了承**  
・県北の保健医療圏の充足状況を勘案した上で、県南の保健医療圏にも可能な範囲で配置  
・産婦人科を希望する医師については、初期臨床研修修了後、直ちに専攻医となり資格を取得した後は、医師不足地域において勤務
- 8月26日 **「第6回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」にて説明**  
・2018年4月から新たに地域卒卒業医師3人が地域勤務を開始した報告  
・2019年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の勤務病院選定方法の説明
- 10月 4日 **2019年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の配置候補病院決定**  
2019年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の配置を希望する県北の13病院、岡山市を除く県南東部8病院、倉敷市を除く県南西部7病院の中から、センターが作成した選定方法により、高梁・新見保健医療圏上位3病院、真庭保健医療圏上位2病院、津山・英田保健医療圏上位2病院、岡山市を除く県南東部保健医療圏上位1病院、倉敷市を除く県南西部保健医療圏上位1病院の合計9病院を候補病院として選定。但し、2019年度も地域卒卒業医師が継続して勤務する3病院（成羽病院、落合病院、湯原温泉病院）は対象外
- 10月 4日～ **マッチング開始**  
12月13日 地域勤務希望者5人による勤務候補病院の見学・面接
- 12月17日 **岡山県地域医療支援センター定例会において地域勤務希望者5人と勤務候補病院とのマッチング結果を確認**  
マッチした5病院：高梁中央病院、金田病院、積善病院、赤磐医師会病院、笠岡第一病院

### 3. 地域医療を支える未来の医療人の育成・確保支援

#### 3-1 2018年 地域枠学生・自治医科大学合同セミナー in 新見

将来、岡山の地で一緒に働くことになる岡山大学・広島大学・鳥取大学の地域枠学生、自治医科大学生が、共に学び交流を深める目的の合同セミナーを、昨年に引き続き、岡山大学大学院地域医療人材育成講座の共催のもと新見市、新見千屋温泉で開催しました。

学生56名、既卒者1名、スタッフ18名、来賓17名が参加しました。

#### 概 要

日 程 2018年8月18日（土）～19日（日）

場 所 高梁市国民健康保険成羽病院（紙谷院長講話、地域枠卒業医師 梶谷先生講話）  
新見市役所（新見市健康増進の取組体験）  
岡山大学鹿田キャンパス融合棟（メディカルラリー）  
新見千屋温泉 いぶきの里（宿泊、新見市長講話、岡山県保健福祉部医療推進課課長講話、地域枠卒業医師 落合病院 脇地先生講話、ワークショップ）

参加者 <学 生>岡山大学医学科 地域枠、広島大学医学科 ふるさと枠、  
鳥取大学医学部 備前市奨学生、自治医科大学(岡山県出身者)  
<教員他>岡山県地域医療支援センター、岡山大学大学院地域医療人材育成講座  
岡山大学病院卒後臨床研修センター、岡山県保健福祉部医療推進課 他

講 師	高梁市国民健康保険成羽病院	院長	紙谷 晋吾
	//	医師	梶谷 聡
	総合病院落合病院	医師	脇地 一生
	新見市	市長	池田 一二三
	岡山県保健福祉部医療推進課	課長	則安 俊昭

#### メディカルラリー・ファシリテーター

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救命救急・災害医学講座	主任教授	中尾 篤典
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科高齢者救急医療学講座	講師	万代 康弘
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科附属医療教育センター	助教	飯田 淳義
岡山県大学大学院地域医療人材育成講座	教授	片岡 仁美
県南西部(笠岡)総合診療医学講座	准教授	小川 弘子
特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン	医師	稲葉 基高
岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部	助教	岩瀬 敏秀
倉敷中央病院（自治医科大学 36期卒業）	医師	濱崎 健太郎

#### メディカルラリー・協力者

岡山大学病院看護部	師長	原田 延枝
岡山済生会総合病院（2018年3月卒業 地域枠）	医師	日笠 晋太郎
岡山大学病院（2016年3月卒業 地域枠）	医師	山田 裕士
特定非営利活動法人 岡山SP研究会	代表	前田 純子

#### 地域医療機関 関係者

新見医師会(太田病院)	会長(院長)	太田 隆正
長谷川記念病院	院長	長谷川 賢也
渡辺病院	院長	遠藤 彰
// （自治医科大学 32期卒業）	医師	豊岡 晃輔
// （自治医科大学 37期卒業）	医師	大森 翔
// （岡山大学研修医）	医師	竹居 セウ

## 【1日目】

奇数学年と偶数学年に分かれ、奇数学年は地域医療提供体制の現場として高梁市国民健康保険成羽病院を訪問し、紙谷院長から成羽病院の現状や地域病院としての役割、2018年7月の西日本豪雨災害で高梁市が被害を受け、その対応に苦労されたお話を聞きました。

また、2018年4月から成羽病院に勤務している地域枠卒業医師の梶谷先生からは地域医療の体験談を聞きました。

午後からは場所を新見市役所に移し、新見市が行っている健康増進の取組『いきいき健康アップ教室』を新見市職員指導のもと体験し、心地よい汗を流しました。

一方、偶数学年は、岡山大学鹿田キャンパス融合棟でメディカルラリーを行いました。8名のファシリテーターが提供する症例に学生3～4人のチームで挑戦し、チームワークを発揮しながら原因の究明や処置方法などを考えました。

夕方には奇数学年と偶数学年が宿泊地の『新見千屋温泉 いぶきの里』で合流しました。

夕食の懇親会には、新見医師会の太田会長をはじめ新見市内の病院の先生方が駆けつけてくださり、新見市内の医療の現状や各医療機関の役割、ご自身の地域医療に携わる志など、分かりやすくそして楽しくお話をしてくださいました。もっと聞きたくて先生のお席に行く学生もいて、先生からは熱いエールをいただきました。懇親会は終始和やかな雰囲気で行われました。

## 【2日目】

『新見千屋温泉 いぶきの里』にて、新見市の池田市長より、新見市の政策や医療の現状の講話をいただきました。岡山県保健福祉部医療推進課 則安課長からは、西日本豪雨災害における岡山県の行政としての対応について講話をいただきました。

また、2018年4月から総合病院落合病院で勤務している地域枠卒業医師の脇地先生からは、地域医療の体験談と西日本豪雨災害で医療支援に当たった体験談を聞きました。

5年生主導のワークショップでは『行動変容について理解しよう』と題して、5年生がクライアント役、その他の学年がカウンセラー役になり、「朝起きられない」など身近な問題をカウンセリング手法を用いてロールプレイングを行いました。共感した声掛けで、クライアントの気持ちに変化していく体験をしました。

参加学生からは、「災害医療の対応や地域枠の医師としての進路などを学ぶことができて良かった。ワークショップでは行動変容について学ぶことができたので今後に活かしたい」や「学生間の交流を深められた」などの感想が有り、有意義な1泊2日のセミナーとなりました。



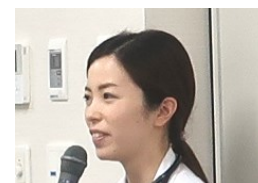
成羽病院 紙谷 晋吾 院長



成羽病院 那須 龍介 副院長



成羽病院 梶谷 聡 先生



成羽病院 高橋 美砂 先生



落合病院 脇地 一生 先生



新見市 池田 一二三 市長



岡山県保健福祉部医療推進課  
則安俊昭 課長



新見医師会 大田 隆正 会長



長谷川記念病院 長谷川 賢也 院長



渡辺病院 遠藤 彰 院長



懇親会の様子



## プログラム

8月18日（土）

【奇数学年】

9時 岡山駅集合  
 10時半 高梁市国民健康保険成羽病院 講話、病院見学  
 講話 紙谷 晋吾 院長、  
 // 地域卒卒業医師 梶谷 聡 先生  
 12時 昼食  
 14時 新見市役所（新見市健康増進の取組体験）

【偶数学年】

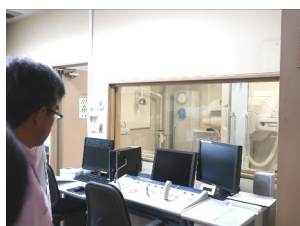
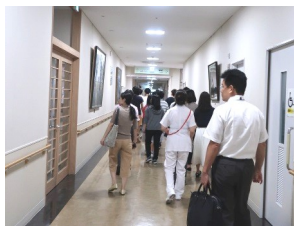
8時半 岡山大学鹿田キャンパス融合棟集合  
 9時 メディカルラリー前半  
 11時 昼食  
 12時 メディカルラリー後半  
 14時 表彰  
 14時半 移動

（合 流）

16時半 チェックイン(新見千屋温泉 いぶきの里)  
 18時 夕食・懇親会

8月19日（日）

7時 朝食  
 9時 講話 新見市 池田 一二三 市長、岡山県保健福祉部医療推進課 則安 俊昭 課長  
 // 地域卒卒業医師 総合病院落合病院 協地 一生 先生  
 10時 ワークショップ(行動変容について理解しよう)  
 12時 昼食  
 13時半 帰路  
 15時 岡山駅着・解散



成羽病院見学



成羽病院 玄関前にて



新見市健康増進の取組  
いきいき健康アップ教室





頭を打った4歳児への対応  
岡山大学大学院医療教育センター  
飯田 淳義 先生



子供への虐待が疑われる事例への対応  
ピースウィンズ・ジャパン  
稲葉 基高 先生



耳に虫が入った人への対応  
倉敷中央病院 濱崎 健太郎 先生



他殺の可能性のある事例への対応  
岡山大学病院 原田 延枝 看護師長



岡山大学鹿田キャンパス融合棟にて



表彰



ワークショップ  
「行動変容について理解しよう」



新見千屋温泉 いぶきの里にて

### 3-2 岡山大学・広島大学の地域医療実習

岡山大学医学科の実習において、岡山大学支部は一部の学生の実習期間中の日報に対するコメントを担当しました。広島大学医学科の実習においても実習協力施設との調整を行いました。

＜岡山大学＞

2018年 1月 選択制臨床実習オリエンテーション

2018年 5月 離島実習オリエンテーション

2018年 9月 選択制臨床実習報告会

2018年10月 1年生実習報告

＜広島大学＞

2018年1月～ 実習説明

＜実習協力施設一覧＞

新見中央病院、長谷川記念病院、渡辺病院、高梁中央病院、成羽病院、哲西町診療所、川上診療所、落合病院、勝山病院、金田病院、湯原温泉病院、中島病院、津山ファミリークリニック、奈義ファミリークリニック、湯郷ファミリークリニック、玉野市民病院、備前病院、吉永病院、岡村一心堂病院、岡山記念病院、岡山西大寺病院、片岡内科医院、佐藤医院、つばさクリニック、藤井クリニック、ももたろう往診クリニック、安田内科医院、井原市民病院、笠岡市民病院、笠岡第一病院、倉敷市民病院、水島第一病院、水島中央病院、金光病院、矢掛町国民健康保険病院、因島総合病院、庄原赤十字病院、寺岡記念病院、藤井病院、赤穂中央病院、朝来医療センター、入江病院、鳥取市民病院、日南病院、三朝温泉病院、

### 3-3 医学生・大学院生講義

2018年 1月10日・8月 1日・8月28日・11月27日

「実習に行く前に」

地域医療体験実習へ参加する学生に対して講義を行い、望ましい学習姿勢や守秘義務について説明しました。

「地域医療の課題」

岡山大学大学院講義および医学部講義において、地域医療に関係した課題について説明しました。

### 3-4 奨学資金の貸与手続等に関する説明会

2018年 3月14日



岡山大学医学科と広島大学医学科に入学する地域枠学生に対して保護者同席で、地域枠制度の趣旨と医学生としての心構えなどについて説明しました。

また、新入生の皆さんには、自己紹介や入学後の抱負について話していただきました。



### 3-5 オープンキャンパス

2018年 8月 9日

岡山大学医学科のオープンキャンパスに協力しました。

地域枠相談コーナーを設け、岡山大学大学院地域医療人材育成講座教員と共に高校生・保護者からの質問に対応しました。

### 3-6 岡山県知事と地域枠学生・自治医科大学生との懇談会

2018年 3月22日

将来、県内の医師不足地域の医療を担う岡山大学及び広島大学の地域枠学生、自治医科大学（岡山県出身）の学生が、県庁を訪れて知事と懇談を行いました。

岡山大学卒業生3人、広島大学卒業生3人及び自治医科大学卒業生2人が地域医療に向けた決意を表明し、知事からは激励の言葉をいただきました。



### 3-7 岡山県臨床研修連絡協議会

2018年11月19日

初期臨床研修の質の向上・臨床研修環境の改善・臨床研修医の確保推進・岡山県の臨床研修情報の全国発信を目的として、岡山県内の臨床研修病院（16施設）の先生方とその関係者が集まり協議を行いました。



### 3-8 レジナビフェア2018 in大阪（初期臨床研修病院合同説明会）

2018年 7月 1日

岡山医療センター、岡山協立病院、岡山済生会総合病院、岡山大学病院、心臓病センター榊原病院、水島協同病院の6病院が共同で出展し、岡山県の臨床研修病院のPRを行いました。



## 4. 地域卒卒業医師の着任環境の整備に関する助言・支援

### 4-1 地域医療機関・自治体訪問

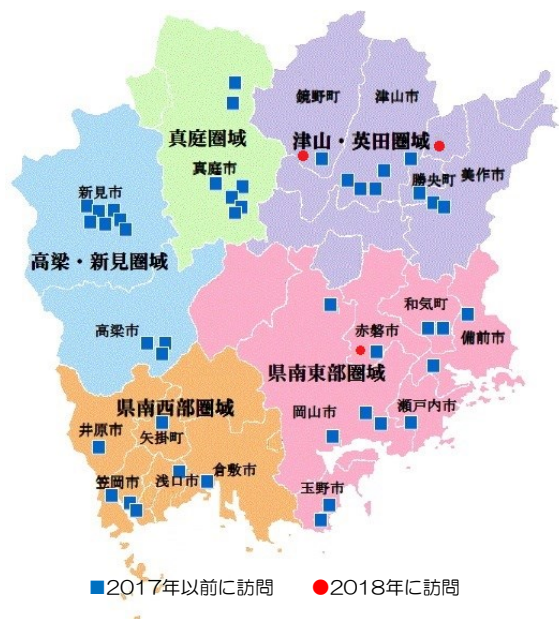
地域の医療や救急の状況など、病院の取組等を把握するため県内の医療機関を訪問し、現状と今後の方針・地域における役割や地域卒卒業医師の受入体制等について意見交換を実施しました。

地域住民の高齢化、医療機関の閉鎖（医師の高齢化）による医療困窮者の対応など、地域の実情に合わせた各医療機関の取組の状況を知ることができました。

自治体訪問として、津山市を訪問し、市の医療や介護の状況、今後の施策について意見交換を行いました。

2018年 5月21日  
// 7月29日  
// 10月29日

津山市  
赤磐医師会病院  
奈義ファミリークリニック



津山市訪問



赤磐医師会病院訪問



奈義ファミリークリニック訪問

### 4-2 初期臨床研修病院訪問

初期臨床プログラムの概要や育成方針について意見交換を行うため、県内の研修病院を訪問し、説明を受けました。

また、地域卒卒業医師が高い総合診療能力を身につけるよう、指導を依頼しました。

2018年 1月16日  
// 2月19日

岡山大学病院  
岡山市立市民病院

#### 4-3 地域の医療機関でのシミュレーショントレーニング

岡山大学医療人キャリアセンターMUSCAT、サテライトオフィスPIONE主催、岡山大学医療教育センター、岡山大学大学院地域医療人材育成講座、GIMcenterと共催で、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科の万代康弘先生と新見公立大学非常勤講師の溝尾妙子先生による、シミュレーション講習会を地域に出かけて開催しました。こうした取組によって地域の医療機関の教育力が強化されることを期待しています。

2018年 6月24日  
 【シミュレーショントレーニングin新見】  
 「病棟・外来急変トレーニング」  
 参加者：看護師14人

#### 4-4 PIONEシンポジウム

中山間地域の医療サポートとして、岡山大学医療人キャリアセンターMUSCAT、新見サテライトオフィスPIONE、岡山大学大学院地域医療人材育成講座、GIMcenterの主催で、大学・行政・医師会や看護協会などが密に連携し、地域医療を支えるために、医療スキルのUP TO DATEとネットワーク構築のサポートを目的に開催しました。

2014年に設立されたMUSCAT新見サテライトオフィスPIONEのこうした取組を地域の住民と共有し、県北の医療について、共に考えていきます。

2018年 9月29日  
 【新見で「最期まで自分らしく生きる」ために】  
 ～住民と医療者、共に語ろう～  
 参加者：92人

第3回  
**PIONE**  
 シンポジウム  
 新見で「最期まで自分らしく生きる」ために  
 ～住民と医療者、共に語ろう～  
**2018年9月29日(土)**  
 日時: 14:00～16:40 予定(開場:13:30)  
 会場: 新見公立大学/新見公立短期大学 学術交流センター3階  
 対象: 医療従事者、医療系学生、地域住民の方々  
 定員: 先着100名  
 タイムスケジュール:  
 14:00～ 開会 あいさつ  
 14:05～ 岡山大学キャリアセンターMUSCAT、PIONEプロジェクト概要説明  
 14:15～ 岡山大学キャリアセンターMUSCAT、PIONEプロジェクト概要説明  
 14:20～ 医療の立場から 新見市医師会 澤田健一 先生  
 14:25～ 在宅医療の立場から 山形県医師会 澤田 孝・中村アツシタ 山本真尋 先生  
 14:30～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 14:35～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 14:40～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 14:45～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 14:50～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 14:55～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:00～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:05～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:10～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:15～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:20～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:25～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:30～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:35～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:40～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:45～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:50～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 15:55～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:00～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:05～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:10～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:15～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:20～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:25～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:30～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:35～ 市民の立場から 新見市立病院 山本真尋 先生  
 16:40～ 閉会 あいさつ  
 お申し込み: 9月20日(木) 18時までにPIONE事務局へお申し込みください。お申し込みは、お申し込みフォームからお願いいたします。  
<https://sat-form-master.jp/frm/7c93163c522449>  
 QRコード



## 5. 連携協力・情報発信・センター運営

### 5-1 岡山県地域医療支援センター運営委員会



地域の医療関係者との合意のもと、効果的に当センターの運営を行うため、岡山県地域医療支援センター運営委員会を開催しました。

会議では、当センター本部及び岡山大学支部のそれぞれの取組について報告を行うとともに、その報告内容を踏まえて委員と事務局で活発な意見交換を行いました。

2018年 2月13日

平成29年度 第2回 岡山県地域医療支援センター運営委員会

議題：(1)副会長の選任について

(2)岡山県地域医療支援センターの運営状況

2018年 6月 5日

平成30年度 第1回 岡山県地域医療支援センター運営委員会

議題：(1)岡山県地域医療支援センターの運営状況

(2)第6回地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップについて

(3)平成31年4月から医師不足地域の病院で勤務を開始する地域卒卒業医師と勤務病院とのマッチングについて

### 5-2 岡山県医療対策協議会への出席

地域の実情に応じた医療を確保するため、岡山県が主催する協議の場へ出席しました。

2018年 2月 2日

平成29年度 第1回 岡山県医療対策協議会

議題：(1)平成30年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の勤務病院の決定について

(2)第8次岡山県保健医療計画に基づく地域卒卒業医師の配置方針の検討について

2018年 5月31日

平成30年度 第1回 岡山県医療対策協議会

議題：(1)第8次岡山県保健医療計画に基づく地域卒卒業医師の配置方針の検討について

(2)医療法及び医師法の改正に伴う「地域医療対策協議会」の実効性確保について

### 5-3 フォーラム・シンポジウム

#### 第8回 中国四国地域医療フォーラム

2018年 2月10日

テーマ：新専門医制度下の地域枠出身者のキャリア形成

#### 第10回 全国シンポジウム「地域推薦枠医学生の卒前・卒後教育をどうするか？」

2018年 2月16日

テーマ：新専門医制度下の地域枠卒業医師の動向

### 5-4 ホームページ・Facebook更新

地域医療支援センターの情報をホームページ・Facebookで発信しています。

ホームページ <http://chiikiiryuokayama.wixsite.com>

Facebook <https://www.facebook.com/chiikiiryu33>

## 2018(平成30)年次 報告書

### 岡山県地域医療支援センター

Center for medical cooperation, human resources placement and career promotion of Okayama Prefecture

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県保健福祉部医療推進課内

TEL : 086-226-7381 FAX : 086-224-2313

E-mail : chiikiiryuokayama@gmail.com

Homepage : <http://chiikiiryuokayama.wixsite.com/centerokayama>

Facebook : <https://www.facebook.com/chiikiiryu33>

### 岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

専任担当医師 岩瀬 敏秀

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 MUSCAT CUBE 2階

TEL : 086-235-6833 FAX : 086-235-6834

E-mail : [toshihide\\_iwase@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:toshihide_iwase@cc.okayama-u.ac.jp)

岡山県地域医療支援センター

ウェブ検索



発行：2019年3月